

《沖縄協同病院の理念》

- 人権といのちの尊厳を守る、無差別平等の医療を行います。
- 地域と共に平和で健康に暮らせる、まちづくりを行います。

はいさい

《沖縄協同病院医師研修理念》

- 基本的診療能力を身につけることを第一の目標とし、患者を「一人の人間」として捉え、「患者の幸せ」を追求できる医師を養成します。

新入職員セレモニー



初期研修医
たかみね あさてる
高嶺 朝光

本日より沖縄協同病院の新入職員として皆様とともに働かせていただけることを大変光栄に思います。4月1日からの1週間、沖縄医療生協ならびに沖縄民医連からオリエンテーションをうけ、そこで、沖縄医療生活協同組合の歴史やこれまでの医療活動について学び、大変素晴らしい取り組みを行なっていることを改めて認識することが出来ました。これからその一員となるべく新入職員一同、日々研鑽を積んでいき、やる気と誠意をもって患者さんに寄り添い、地域の皆様の健康な暮らしを守っていきたいと思っております。

今はまだ右も左もわからず、何かとご迷惑をおかけすることと思いますが、一日も早く戦力となれますよう頑張っておりますので、温かいご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。



救急センター
看護師
すなわ みく
砂川 未来

私たちは沖縄協同病院の一員として新たに一步を踏み出すことができ、とても嬉しく思うとともに、身の引きしまる思いでいっぱいです。

私は学生時代から、沖縄協同病院で看護補助者としてアルバイトをしていました。看護補助者として働く中で、スタッフの温かさや、多忙な中での患者様への対応を見て、同じ看護師として共に働きたいと強く思いました。また、幼い頃からの夢であった救急看護師として沖縄協同病院で働けることを嬉しく思います。

看護師の道は、人の命や生活に深く関わる責任のある仕事で、決して容易なものではないと感じています。知識や技術の習得はもちろんのこと、患者さん一人ひとりの思いに寄り添い、信頼関係を築く力が求められると考えています。時には困難や壁に直面することもあると思いますが、その一つひとつを乗り越え自分自身の成長につなげていきたいと思っております。

4月から医療従事者としての自覚をもち、辛い時も同期と励まし高め合いながら精一杯頑張ります。

| 職種 | 人数 |
|-----------|----|
| 研修医 | 9 |
| 薬剤師 | 1 |
| 看護師 | 10 |
| 診療放射線技師 | 1 |
| 社会福祉士 | 1 |
| 管理栄養士 | 1 |
| 医師事務作業補助者 | 2 |
| 合計 | 25 |

病院の活動状況 ＜2026年3月度＞

- ・ 外来一日平均患者数：236人（前年同月比 -56人）
- ・ 入院一日平均患者数：227人（前年同月比 -38人）
- ・ 組合員利用分量(率)：56.8%（前年同月比 -2.9%）

今後の外来のかかり方②

ひびき堂路

231 呼吸器外科より



2026年4月から沖縄協同病院は紹介受診重点医療機関の承認を受けました。その承認を目指して、にじクリニックやとよみ生協病院との間で役割分担をすすめてきました。（協同病院が唯一のかかりつけです）という状況はなくなっています。（協同病院であなた方患者さんを待っていますので、体調が悪くなったら、気になることがあったらいつでもすぐに連絡してください）ということではできなくなります。

その中でも協同病院はにじクリニックやとよみ生協病院、周囲のクリニックさんと連絡を取り合い、急を要する患者さんの悩み、困ったことのできるだけ対応していきます。夜間や週末は協同病院でもできることが制限されます。患者さんへお願いはこのような相談はできるだけ平日の日中（朝方から）にお願いしたいということです。組合員さんにおかれましては、複数の慢性疾患を抱え、かつ気になる症状が出たり消えたり不安になることも多々あると思われる。かかりつけの医師、病院に相談し解決してくれると思っても、その受診もできず、受診できても他院や救急室を含めたいろいろな科を紹介されるのが想定されます。待ち時間や日数も長くなるかもしれません。しかし現状では、辛抱強くそれぞれの科を受診し、問題を一つ一つ解決してゆくことが最善の対応と考えます。

我々も現在未来の医療の状況、あり方を考えながら、患者さんの不安を少なくする診療に努めてまいります。困った時に患者さんやクリニックから医療生協に相談いただいたときは必ず提案（いつ、にじクリニック、とよみ生協病院または協同病院、および救急室を受診してください、近くのクリニックを受けてください）などを行います。提案にご理解いただければそれに従って受診行動を起こしていただくようお願いいたします。

呼吸器外科部長 永田 仁

帰任あいさつ



あらさき じゅんいち
新崎 隼一
(泌尿器科)

泌尿器科5年目の新崎隼一です。初期研修の時は大変お世話になりました。4年ぶりに帰ってきた母院(母校っぽく)は変わらない懐かしさを感じつつも、一緒に働いていたスタッフや建物自体も相応の年月が経ったのだとしみじみとしています(いい意味で)。

そんな私も初期研修の時よりはお金に余裕ができたこともあり、久々に再会したみなさんに大きくなったねと褒められています。「人はいさ 心も知らず ふるさとは花ぞ昔の 香にほひける」これからも日々の診療に努めてまいりますので、何卒宜しくお願ひ申し上げます。

専攻医あいさつ



しもだ ありのり
下田 有彦
(外科)

鳥取県出身、鹿児島生協病院で勤務しておりました外科専攻医1年目の下田有彦です。本年4月より沖縄協同病院でお世話になります。専門は消化器外科です。患者さんに安心して医療を受けていただけるよう、丁寧な説明と誠実な診療を心がけてまいります。

日々研鑽を重ね、地域の皆さまのお役に立てるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。



かじま りょう
梶間 了
(内科)

内科専攻医になりました、梶間です。初期臨床研修でもお世話になりましたが、この度内科専攻医として戻って参りました。日々勉強し、患者さんにとってベストな医療を提供できるように、他職種の方と協力しながらがんばりたいと思います。

未熟な点も多いかと思いますが、御指導・御鞭撻のほど賜れますと幸いです。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。



しみず さくら
清水 桜
(形成外科)

このたび沖縄協同病院に着任いたしました、形成外科医の清水桜です。愛知県出身ですが、沖縄の方々の温かい人柄や豊かな自然に魅力を感じ、研修医時代に移住いたしました。今後は形成外科医として、患者様お一人おひとりに寄り添い、整容面と機能面の回復に貢献できるよう努めてまいります。地域の皆様に信頼される医療を提供できるよう精進してまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



当院で出生したBabyの写真です



永村希々羽ちゃん



照喜名春芭ちゃん

Instagramやってます
@okikyo.sanka



私の部署のいいところ

診療を陰から支える「縁の下の力持ち」！用度課です。

みなさん、こんにちは！用度課は、病院職員3名と委託職員4名の計7名で活動している部署です。

私たちの仕事は、病院で使うあらゆる「モノ」の管理。事務用品から手術で使う専門的な材料まで、扱う種類は膨大です！倉庫には規格違いの物品が所狭しと並んでいますが、これらを正確に把握し、現場へ届けています。

患者様と直接お会いする機会は少ないですが、「物が無い」という状況は、巡り巡って患者様の不利益につながります。診療がスムーズに進むよう、絶対に欠品させないという情熱を持って、今日も裏方から全力でサポートしていきます！

一般事務 西江 量俊



用度課



認定(特定)看護師紹介① 感染制御実践看護師



病院での感染担当の看護師の役割は、病原微生物の発生の抑制や伝播の防止を目的に、「つくらない、もらわない、うつさない」ための教育や、環境の調整、器材、設備の使い方、管理状況など、あまり表舞台には出ない業務が多めです。

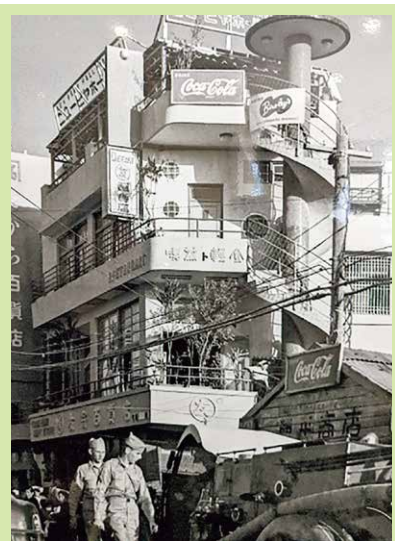
患者さんとの直接のやりとりは少ないですが、スタッフへの教育や研修を行ない、感染が起こりづらい方策の導入の提案などを主としています。

また、「風邪には抗菌薬は効きませんよ」に代表される不要な抗菌薬の削減や根拠のある抗菌薬処方など、抗菌薬の適正使用の推進を行っています。先の感染対策チーム(ICT)と後述の抗菌薬適正使用支援チーム(AST)では、医師、薬剤師、検査技師、看護師が専門的な知識を持ち、感染の管理から医療やケアの質向上に貢献したいと思っています。

医療安全管理室 河田 宏治

まじゅん 昭和の庶民に大人気！「平和通り」

平和通り商店街・那覇市牧志



1960年代の平和通り入口。高い建物は少なく、平屋か2階建ての店が並ぶ。
写真：那覇市歴史博物館

某日。ネットのデジタルミュージアムで、ある建物の古い写真が気になった。ここ知ってるぞと、早速現地へ。

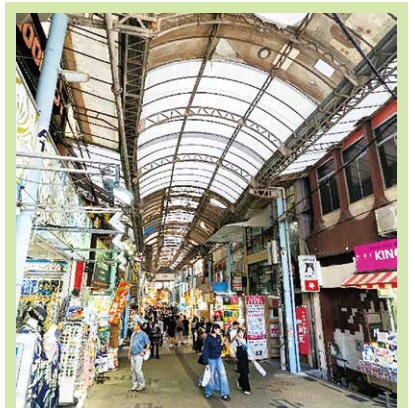
やって来たのは那覇市牧志「平和通り商店街」入口。モノクロ写真と同じ丸い傘がある螺旋階段が残っている。1980年代にはおしゃれなビルだった。2階が喫茶店、3階からはパブで、当時の若者がお世話になった。

1947年終戦直後オープンした平和通り入口には「平和館」という映画館があり、その名がついた。ちなみに牧志には「アーニーパイル国際劇場」があり「国際通り」の名の由来となった。現在は映画館はなく、その名のみ残る。

これは「高良ラッパ」と親しまれた経済界の鬼才・高良一氏のアイデアである。映画館があれば人が集まる。この作戦は見事に成功。田んぼだった国際通りは「奇跡の1マイル」と呼ばれるほどの繁華街となる。



平和通りには衣料品店が多く、リーズナブルで流行りの服が溢れていた。若者からお年寄りまで幅広い人気だった。今は観光客御用達の「オオオンシャツ」が一番人気らしい。



アーケードは老朽化で、近くの旧三越デパートとともに取り壊し予定。新しい顔に変わる。

昭和の平和通りは、庶民のファッションリーダーで、たくさんの買い物客でにぎわった。平成の頃から客足は駐車場の便利な郊外へ移り、令和には多くが土産品店へと変わった。しかし、また新しいにぎわいが始まっている。

さんぽ人 宮城 じゅん